



Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway
アドミニストレータ ガイド
Release 5.2 および 5.3

November 5, 2004



このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。見当たらない場合には、代理店にご連絡ください。

シスコが採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティング システムの UCB (University of California, Berkeley) パブリック ドメイン パーミッションとして、UCB が開発したプログラムを最適化したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、すべてのマニュアルおよび上記各社のソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよび上記各社は、商品性や特定の目的への適合性、権利を侵害しないことに関する、または取り扱い、使用、または取り引きによって発生する、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその代理店は、このマニュアルの使用またはこのマニュアルを使用できないことによって起こる制約、利益の損失、データの損傷など間接的で偶発的に起こる特殊な損害のあらゆる可能性がシスコまたは代理店に知らされていても、それらに対する責任を一切負いません。

CCIP、CCSP、Cisco Arrow のロゴ、Cisco Powered Network のマーク、Cisco Unity、Follow Me Browsing、FormShare、および StackWise は、Cisco Systems, Inc. の商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn、および iQuick Study は、Cisco Systems, Inc. のサービスマークです。Aironet、ASIST、BPX、Catalyst、CCDA、CCDP、CCIE、CCNA、CCNP、Cisco、Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS、Cisco IOS のロゴ、Cisco Press、Cisco Systems、Cisco Systems Capital、Cisco Systems のロゴ、Empowering the Internet Generation、Enterprise/Solver、EtherChannel、EtherSwitch、Fast Step、GigaStack、Internet Quotient、IOS、IP/TV、iQ Expertise、iQ のロゴ、iQ Net Readiness Scorecard、LightStream、MGX、MICA、Networkers のロゴ、Networking Academy、Network Registrar、Packet、PIX、Post-Routing、Pre-Routing、RateMUX、Registrar、ScriptShare、SlideCast、SMARTnet、StrataView Plus、Stratm、SwitchProbe、TeleRouter、The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient、TransPath、および VCO は、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. とその関連会社の登録商標です。

このマニュアルまたは Web サイトで言及されているその他の商標はすべて、それぞれの所有者のもです。「パートナー」という語の使用は、シスコと他社の提携関係を意味するものではありません。(0401R)

Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway アドミニストレータガイド Release 5.2 および 5.3

Copyright © 2004 Cisco Systems, Inc.

All rights reserved.



CHAPTER 1**Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway の概要 1-1**

対象読者 1-1

適用範囲 1-1

製品名の表記法 1-2

Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway Release 5.2 および 5.3 について 1-3

データベース情報のバックアップ対象 1-3

ファイルのバックアップ方法 1-3

追加情報 1-4

CHAPTER 2**Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway のインストールと設定 2-1**

Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway Release 5.2 および 5.3 のインストール方法 2-2

Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway Release 5.2 および 5.3 のインストール準備用ワークシートの作成 2-2

Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway Release 5.2 および 5.3 のインストール 2-5

Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway Release 5.2 および 5.3 の設定について 2-6

Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway のバックアップファイルの例 2-6

Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway Release 5.2 および 5.3 の設定方法 2-7

ネットワーク ファイル サーバへのバックアップ目的でログインするための Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway Release 5.2 および 5.3 の設定 2-7

Cisco MeetingPlace GWSIM の設定 2-7

ファイルを転送するための Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway Release 5.2 および 5.3 の設定 2-10

CHAPTER 3**Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway によるバックアップの実行とデータの復元 3-1**

Cisco MeetingPlace Audio Server システムのデータベースのバックアップについて 3-2

Cisco MeetingPlace Audio Server システムのデータベースのバックアップ方法
3-3

 Cisco MeetingPlace Audio Server システムのデータベースのバックアップ
 3-3

 Cisco MeetingPlace Audio Server システムのデータベースのバックアップ
 の例 3-4

 バックアップ結果の表示 3-4

バックアップ ファイルからの Cisco MeetingPlace Audio Server システムのデー
タの復元 3-6

 データベースの復元方法 3-6

 最新のバックアップ ファイルの特定方法 3-6

ローカル ドライブに格納されているバックアップ ファイルからの Cisco
MeetingPlace Audio Server システムのデータの復元方法 3-7

 復元の準備作業の実行 3-7

 バックアップ ファイルからの復元 3-7

ネットワーク ファイル サーバに格納されているバックアップ ファイルからの復
元方法 3-9

 ネットワーク ファイル サーバにアクセスするための Cisco MeetingPlace
 GWSIM の設定 3-9

 Cisco MeetingPlace GWSIM の設定のアップデート 3-10

 バックアップ ファイルから Cisco MeetingPlace システムのデータを復元
 する例 3-10

CHAPTER 4

Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway のトラブルシューティング 4-1

INDEX

索引



図 1-1

Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway のバックアップ プロセス 1-4



表 2-1	Cisco MeetingPlace Server Entry ダイアログボックスのフィールド	2-8
表 2-2	Cisco MeetingPlace Backup Configuration ダイアログボックスのフィールド	2-10



Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway の概要

この章は、次の項で構成されています。

- [対象読者 \(P.1-1\)](#)
- [適用範囲 \(P.1-1\)](#)
- [製品名の表記法 \(P.1-2\)](#)
- [Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway Release 5.2 および 5.3 について \(P.1-3\)](#)
- [追加情報 \(P.1-4\)](#)



(注)

このマニュアルでは、Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway Release 5.2 および Release 5.3 を Release 5.2 および 5.3 と表記しています。

対象読者

『Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway Release 5.2 and 5.3』は、Release 5.2 または 5.3 のインストールおよび設定を担当する技術者とシステム管理者を対象としています。

適用範囲

このマニュアルでは、Cisco MeetingPlace システムに Release 5.2 または 5.3 をインストールおよび設定する方法について説明し、トラブルシューティング情報を提供します。

製品名の表記法

このマニュアルでは、次の製品名の表記法が使用されています。

製品	製品名の表記法
Cisco MeetingPlace Audio Server (統合アプリケーションの可能な組み合わせを含む)	Cisco MeetingPlace システム
Cisco MeetingPlace Audio Server のリリース、およびそのリリースがインストールされているハードウェア	Cisco MeetingPlace Audio Server システム
Cisco MeetingPlace Gateway System Information Manager	Cisco MeetingPlace GWSIM
Cisco MeetingPlace MeetingTime のリリース	MeetingTime
Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway Release 5.2 および Release 5.3	Release 5.2 および 5.3
Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway Release 5.2 および Release 5.3 (そのリリースがインストールされているハードウェア)	バックアップ ゲートウェイ サーバ

Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway Release 5.2 および 5.3 について

Release 5.2 および 5.3 は、Cisco MeetingPlace Audio Server システムからネットワーク上の指定された場所にデータベースをバックアップすることによって、Cisco MeetingPlace システムのデータベース情報を保護します。その後、データベースは、お客様の通常の企業プロセスに従ってバックアップすることができます。



(注)

Release 5.2 および 5.3 は、テープバックアッププロセスや暫定的な FTP バックアッププロセスに代わるものです。FTP バックアッププロセスを使用している場合は、Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway へのアップグレードをお勧めします。その暗号化機能によって、セキュリティが大幅に強化されます。

データベース情報のバックアップ対象

Release 5.2 および 5.3 がコピーする対象は、Cisco MeetingPlace Audio Server システムのデータベースに含まれる設定情報とスケジュールされた会議の情報だけです。その他のデータ（プロファイル名の音声録音や会議の記録など）およびソフトウェアはバックアップされません。

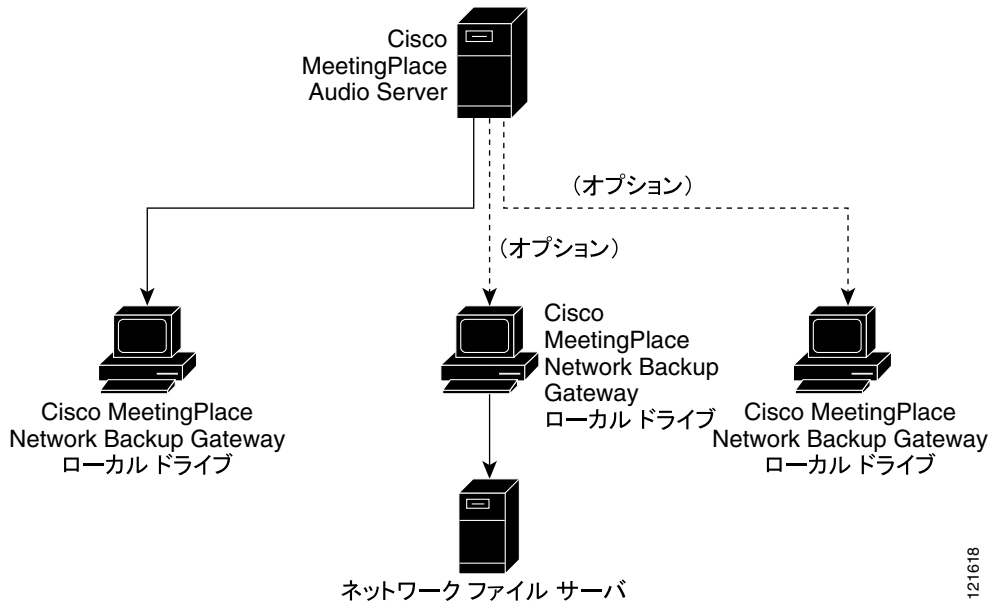
ファイルのバックアップ方法

バックアップは 2 段階のプロセスであり、ネットワーク アクティビティによっては約 1 時間かかります。最初に、Release 5.2 および 5.3 は Cisco MeetingPlace Audio Server システムのデータベースを一時フォルダにバックアップします。次に、Release 5.2 および 5.3 はその一時フォルダの内容をバックアップフォルダに転送します。バックアップフォルダには、複数のバックアップファイルを保持できます。

Release 5.2 または 5.3 がインストールされているバックアップ ゲートウェイ サーバのローカルドライブまたはネットワーク ファイル サーバ (NFS) のいずれかにバックアップを作成できます。ローカルドライブにバックアップすると、ネットワーク トラフィックを軽減できます。一方、NFS にバックアップすると、バックアップを集中管理できます。その後、バックアップファイルは、お客様の通常の企業プロセスに従ってバックアップすることができます。

さまざまな原因で、バックアップ障害が発生することがあります。原因としては、ネットワークの問題、コンピュータの問題、ディスク領域の不足などが考えられます。そこで、1 つのバックアップ ゲートウェイ サーバで障害が発生した場合に備えて、[図 1-1](#) に示すように最大 3 つのバックアップ ゲートウェイ サーバに Release 5.2 または 5.3 をインストールできます。通常の運用では、プライマリ バックアップ ゲートウェイ サーバを介してすべてのバックアップ転送が行われ、プライマリに障害が発生した場合にだけセカンダリ バックアップ ゲートウェイ サーバが使用されるといった動作になります。

図 1-1 Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway のバックアップ プロセス



121618

追加情報

追加情報については、次の URL にあるトピックとマニュアルを参照してください。

- ご使用のリリースの Cisco MeetingPlace Audio Server のマニュアル
<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/conf/mtgplace/audio/index.htm>
- *Guide to Cisco Conferencing Documentation and Support*
<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/conf/mtgplace/roadmap.htm>
- テクニカル サポート
<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/conf/mtgplace/roadmap.htm>
- ご使用のリリースの『Release Notes for Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway』
<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/conf/mtgplace/mpnwbu/index.htm>



Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway のインストールと設定

この章では、Release 5.2 および 5.3 をインストールおよび設定する手順について説明します。この章は、次の項で構成されています。

- [Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway Release 5.2 および 5.3 のインストール方法 \(P.2-2\)](#)
- [Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway Release 5.2 および 5.3 の設定について \(P.2-6\)](#)
- [Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway Release 5.2 および 5.3 の設定方法 \(P.2-7\)](#)

Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway Release 5.2 および 5.3 のインストール方法



(注) Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway の対象リリースをプライマリ バックアップ ゲートウェイ サーバと任意のセカンダリ バックアップ ゲートウェイ サーバにインストールおよび設定する必要があります。



Release 5.2 または 5.3 をインストールするには、次の手順をこの順番で実行します。



- [Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway Release 5.2 および 5.3 のインストール準備用ワークシートの作成 \(P.2-2\)](#)
- [Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway Release 5.2 および 5.3 のインストール \(P.2-5\)](#)

Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway Release 5.2 および 5.3 のインストール準備用ワークシートの作成

Release 5.2 または 5.3 をインストールする前に、次のワークシートに必要な事項を記入して、インストール計画を立てます。このワークシートを作成したら、印刷しておき、Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway の対象リリースをインストールおよび設定する際に参照します。

説明	注
<p>1. ご使用のシステムは、Release 5.2 または 5.3 をインストールするための要件を満たしていますか。</p> <p>システム要件については、次の URL で、ご使用のリリースの『Release Notes for Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway』を参照してください。 http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/conf/mtgplace/mpnwbu/index.htm</p>	
<p>2. 何台のバックアップ ゲートウェイ サーバに Release 5.2 または 5.3 をインストールしますか。</p> <p>次のいずれかを選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 1 台 (プライマリ バックアップ ゲートウェイ サーバ) - 2 台 (プライマリとセカンダリのバックアップ ゲートウェイ サーバ) - 3 台 (プライマリとセカンダリのバックアップ ゲートウェイ サーバの障害に備えるために、プライマリとセカンダリのほかにもう 1 台追加) 	
<p> ヒント</p> <p>ほとんどの場合、1 台または 2 台のバックアップ ゲートウェイ サーバで十分です。</p>	

説明	注
<p>3. Release 5.2 または 5.3 をインストールする際に、Cisco MeetingPlace システムのその他のソフトウェアも同時にインストールしますか。その場合、どのソフトウェアをインストールしますか。</p> <p>Cisco MeetingPlace システムのその他のソフトウェアをインストールする場合、そのソフトウェアは、ご使用のリリースの Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway と互換性がなければなりません。</p> <p> (注) Cisco MeetingPlace システムの複数のソフトウェアを同一のサーバにインストールする場合は、ご使用のシステムが統合の要件を満たしていることを事前に確認する必要があります。詳細については、次の URL で『<i>Important Information About Cisco MeetingPlace Products and Cisco Media Convergence Servers</i>』を参照してください。 http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/conf/mtgplace/mpmcs.htm</p>	
<p>4. Release 5.2 または 5.3 は、どの Windows ユーザ アカウントをログインに使用しますか。</p> <p>このユーザ アカウントには、フル コントロール(バックアップ フォルダに対する読み取り、書き込み、作成、および削除のアクセス権)が設定されている必要があります。</p> <p> (注) ローカル システム アカウントや管理特権を持つアカウントは使用しないでください。</p>	
<p>5. どのフォルダに Release 5.2 または 5.3 をインストールしますか。その完全修飾パス名は何ですか。</p> <p>複数のバックアップ ゲートウェイ サーバに Release 5.2 または 5.3 をインストールする場合、各インストールに使用する完全修飾パス名は何ですか。</p>	

説明	注
<p>6. 一時フォルダは、どこにありますか。その完全修飾パス名は何ですか。</p> <p>このフォルダには、ご使用のリリースの Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway によって作成、コピー、および削除される一時ファイルが保持されます。</p> <p>複数のバックアップ ゲートウェイ サーバに Release 5.2 または 5.3 をインストールおよび設定し、NFS の一時フォルダを使用する場合は、それぞれの Release 5.2 または 5.3 の設定に固有の一時フォルダを NFS に配置する必要があります。</p> <p>複数のバックアップ ゲートウェイ サーバに Release 5.2 または 5.3 をインストールする場合、各フォルダの完全修飾パス名は何ですか。</p> <p> (注) 各一時フォルダに 1 GB を割り当ててください。</p>	
<p>7. どのフォルダにバックアップ ファイルを保持しますか。その完全修飾パス名は何ですか。</p> <p>このパス名は、ローカル ドライブまたは NFS のパス名にすることができます。</p> <p>複数のバックアップ ゲートウェイ サーバを使用する場合、同一のネットワーク フォルダにすべてのファイルをバックアップすることができます。</p> <p>複数のバックアップ ゲートウェイ サーバに Release 5.2 または 5.3 をインストールし、ローカル ドライブにバックアップを作成する場合、各バックアップ フォルダの完全修飾パス名は何ですか。</p>	
<p>8. 一度に何個のバックアップを保存しますか。</p> <p>最低 1 個のバックアップ ファイルが必要ですが、空き領域に応じて、バックアップ ファイルをバックアップ フォルダに追加できます。</p>	
<p>9. バックアップ ファイル用のディスク領域は十分にありますか。</p> <p> (注) 各バックアップ ファイルに約 1 GB を割り当て、各バックアップ フォルダにも 1 GB を割り当ててください (一時用、保存用とも同じです)。</p>	

Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway Release 5.2 および 5.3 のインストール

Release 5.2 または 5.3 をインストールするには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** Cisco MeetingPlace Web Conferencing がインストールされている場合は、そのサービスを停止した後、次の手順を実行して Cisco MeetingPlace システムのその他のサービスをすべて停止します。
- Start メニューから、**Settings > Control Panel > Administrative Tools > Services** を選択します。
 - Cisco MeetingPlace システムのサービスを右クリックし、**Stop** を選択します。
 - Services ウィンドウを閉じます。
- ステップ 2** インストール CD を CD-ROM ドライブに挿入し、**Next** をクリックします。
- InstallShield ウィザードが開始します。
- インストレーション ウィザードが開始しない場合は、次の手順を実行します。
- Start > Run** を選択します。
 - `x:\setup` と入力します。x は CD-ROM ドライブです。
 - OK** をクリックします。
- ステップ 3** P.2-2 の「[Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway Release 5.2 および 5.3 のインストール準備用ワークシートの作成](#)」で記入した情報を使用して、お客様のシステムの情報を各フィールドに入力します。
- ステップ 4** セットアップが完了したら、**Finish** をクリックしてセットアッププログラムを終了します。
-

Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway Release 5.2 および 5.3 の設定について

Release 5.2 および 5.3 の設定時に、次のパラメータを指定します。

- バックアップ ファイルを格納する一時フォルダと保存用フォルダ
- バックアップ フォルダの最大容量
- バックアップ フォルダに格納するバックアップ ファイルの最大数

指定されたフォルダにすべてのバックアップ ファイルが配置され、各バックアップ ファイルには、Cisco MeetingPlace Audio Server システムのイーサネット アドレスとバックアップのタイムスタンプで構成される一意の名前が付与されます。各バックアップ ファイル名は一意なので、複数のバックアップ ファイルが存在する場合でも、互いに上書きし合うことはありません。一般にバックアップ ファイルはサイズが大きく(最大 1 GB)、各バックアップ ファイルは Maximum Number of Backups の制限に達するまで保持されますが、その制限に達すると、後続のバックアップ処理で最も古いファイルが上書きされます。

Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway のバックアップ ファイルの例

次の例は、M:\MeetingPlace backup\BACKUP というバックアップ フォルダの内容を示しています。このフォルダには、3 つの別個のバックアップが含まれています。各バックアップは、バックアップ記述子ファイル (ファイル名の拡張子が .dat) とデータ ファイル (ファイル名の拡張子が .tgz) で構成されます。

Cisco MeetingPlace Audio Server システムのイーサネット アドレスは 0001af03b786 で、最後のバックアップは 10/21/2003 の 12:06:49 AM (20031021000649) です。

```
M:\MeetingPlace Backup\BACKUP>dir
Volume in drive M is Local Disk
Volume Serial Number is DCDD-5BC3

Directory of M:\MeetingPlace Backup\BACKUP

10/21/2003 12:06a      <DIR>          .
10/21/2003 12:06a      <DIR>          ..
10/19/2003 12:06a                141 BU_0001af03b786_20031019000653.dat
10/19/2003 12:06a                6,472,262 BU_0001af03b786_20031019000653.tgz
10/20/2003 12:06a                141 BU_0001af03b786_20031020000643.dat
10/20/2003 12:06a                6,472,262 BU_0001af03b786_20031020000643.tgz
10/21/2003 12:06a                141 BU_0001af03b786_20031021000649.dat
10/21/2003 12:06a                6,472,262 BU_0001af03b786_20031021000649.tgz
        6 File(s) 19,422,455 bytes
        2 Dir(s) 20,986,019,840 bytes free
```

次の例は、10/21/2003 の 12:06:49 AM (20031021000649) のバックアップの .dat ファイルの内容を示しています。

```
M:\MeetingPlace Backup\BACKUP>type BU_0001af03b786_20031021000649.dat
MeetingPlace Backup

Backup of my_meetingplace_server 5.2.0 S/N: M123456
Tue Oct 21 00:06:49 PDT 2003

Database backup
183877073 6436798 /tmp/mpbackup.tgz
```

Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway Release 5.2 および 5.3 の設定方法

ご使用のリリースの Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway を設定するには、次の手順をこの順番で実行します。

- (オプション)ネットワーク ファイル サーバへのバックアップ目的でログインするための Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway Release 5.2 および 5.3 の設定 (P.2-7)
- Cisco MeetingPlace GWSIM の設定 (P.2-7)
- ファイルを転送するための Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway Release 5.2 および 5.3 の設定 (P.2-10)

ネットワーク ファイル サーバへのバックアップ目的でログインするための Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway Release 5.2 および 5.3 の設定

NFS にバックアップする場合は、ファイルを NFS に書き込むための特権を持つ ID でログインするように Release 5.2 および 5.3 を設定する必要があります。

ステップ 1 Start メニューから、**Settings > Control Panel > Administrative Services > Services** を選択します。

Services コントロール パネルが開きます。

ステップ 2 **MeetingPlace Backup** を右クリックし、**Properties** を選択します。

MeetingPlace Backup Properties (Local Computer) ウィンドウが開きます。

ステップ 3 **Log On** タブを選択します。

ステップ 4 **This account** を選択します。

ステップ 5 NFS のユーザ ID とパスワードを入力し、**OK** をクリックします。

ステップ 6 バックアップ ゲートウェイ サーバを再起動します。

Cisco MeetingPlace GWSIM の設定



(注) Cisco MeetingPlace GWSIM に対して指定する一時バックアップ ファイルの場所は、[P.2-10 の「ファイルを送送するための Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway Release 5.2 および 5.3 の設定」](#)で指定する場所と同じでなければなりません。一時フォルダの場所を変更する場合は、Cisco MeetingPlace GWSIM の設定と Release 5.2 または 5.3 の設定に含まれる場所を必ず変更してください。

次の手順を実行して、Cisco MeetingPlace Audio Server システムがファイルを一時フォルダに転送できるように Cisco MeetingPlace GWSIM を設定します。複数のバックアップ ゲートウェイ サーバに Release 5.2 または 5.3 をインストールした場合は、個別に Cisco MeetingPlace GWSIM を設定します。

ステップ 1 Cisco MeetingPlace Web Conferencing がインストールされている場合は、そのサービスを停止した後に、次の手順を実行して Cisco MeetingPlace のその他のサービス (Cisco MeetingPlace GWSIM を含む) をすべて停止します。

- a. Start メニューから、**Settings > Control Panel > Administrative Tools > Services** を選択します。
- b. Cisco MeetingPlace システムのサービスを右クリックし、**Stop** を選択します。
- c. Services ウィンドウを閉じます。

ステップ 2 **Start > Programs > MeetingPlace Applications > MeetingPlace Gateway Configuration** を選択します。

Cisco MeetingPlace Gateway Configurations ダイアログボックスが開きます。

ステップ 3 新しい Cisco MeetingPlace GWSIM を設定する場合は、**Add** をクリックします。

または

このバックアップ ゲートウェイ サーバにインストールされている Cisco MeetingPlace システムのサービスに対して Cisco MeetingPlace GWSIM がすでに設定されている場合は、Cisco MeetingPlace Gateway Configurations ダイアログボックスの左側のフィールドにあるサーバ名をダブルクリックします。

Cisco MeetingPlace Server Entry ダイアログボックスが開きます。

ステップ 4 各フィールドにネットワーク情報を入力します。表 2-1 を参照してください。

表 2-1 Cisco MeetingPlace Server Entry ダイアログボックスのフィールド




フィールド	作業
Server Name	Cisco MeetingPlace Audio Server システムの名前を入力します。
Shadow Server Name	このフィールドは、Release 5.2 および 5.3 では使用されません。  (注) このフィールドの情報は変更しないでください。
Client IP Address	Release 5.2 または 5.3 をインストールするバックアップ ゲートウェイ サーバの IP アドレスを入力します。
Transfer Destinations	Cisco MeetingPlace Audio Server システムのデータベース ファイルをバックアップする先の一時フォルダの完全修飾パス名を入力します。  (注) 複数の場所を入力する場合は、各場所をセミコロン (;) で区切ります。セミコロンの後ろにスペースを入力しないでください。パス内の各部を区切るには、バックスラッシュ文字 (\) を使用します。

表 2-1 Cisco MeetingPlace Server Entry ダイアログボックスのフィールド (続き)

フィールド	作業
Link Encryption Disabled	<p>Cisco MeetingPlace GWSIM と Cisco Meetingplace Audio Server システムとの間の通信内容を暗号化する場合は、必ずこのボックスをオフにしてください。</p> <p>暗号化には、秘密鍵による 56-bit DES アルゴリズムが使用されます。</p> <p>クリア テキストで通信内容を送信する場合は、Link Encryption Disabled ボックスをオンにします。</p> <p> (注) クリア テキストで通信内容を送信することはお勧めしません。</p>

ステップ 5 設定を受け入れるために、**OK** をクリックします。

ステップ 6 Cisco MeetingPlace Gateway Configurations ダイアログボックスで、**OK** をクリックします。

ステップ 7 バックアップ ゲートウェイ サーバを再起動します。



(注) Cisco MeetingPlace GWSIM を使用するには、バックアップゲートウェイサーバと Cisco MeetingPlace Audio Server システムとの間で TCP ポートが開いていなければなりません。ポートが開いている状態で、サーバが IP またはホスト名で解決できる場合、Cisco MeetingPlace GWSIM は Cisco MeetingPlace Audio Server システムに自動的に接続します。

ファイルを転送するための Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway Release 5.2 および 5.3 の設定

Cisco MeetingPlace Audio Server システム の一時フォルダからバックアップ ゲートウェイ サーバのバックアップ フォルダにファイルを転送するように Release 5.2 および 5.3 を設定する必要があります。


NFS にバックアップする場合は、NFS サーバにアクセスできる Windows アカウントのログイン ID も入力する必要があります。

- ステップ 1** バックアップ ゲートウェイ サーバで、**Start > Programs > MeetingPlace Applications > MeetingPlace Backup Configuration** を選択します。

Cisco MeetingPlace Backup Configuration ダイアログボックスが開きます。

- ステップ 2** 各フィールドにネットワーク情報を入力します。表 2-2 を参照してください。

表 2-2 Cisco MeetingPlace Backup Configuration ダイアログボックスのフィールド

フィールド	作業
Backup directory : バックアップ ファイルを配置するフォルダを示します。	完全修飾パス名を入力します。 このパス名は、ローカル ドライブまたは NFS のフォルダのパス名にすることができます。
Temporary Directory : バックアップ プロセスで作成、移動、および削除される一時バックアップ ファイルが含まれます。	完全修飾パス名を入力します。  (注) このフォルダは、P.2-7 の「Cisco MeetingPlace GWSIM の設定」で指定したフォルダと同じでなければなりません。
Maximum Number of Backups : バックアップ フォルダに一度に格納できるバックアップ ファイルの最大数を示します。	バックアップの最大数を入力します。 最小値は 1 です。最大数は、バックアップの場所に使用できる領域の容量によって異なります。

- ステップ 3** ローカル ドライブにバックアップする場合は、**ステップ 4** に進みます。

または

ネットワーク ドライブにファイルを保存する場合は、ログインの設定を行います。

- Cisco MeetingPlace Backup Configuration ダイアログボックスで、**Logon Settings** をクリックします。
- This account** を選択します。
- Windows アカウントのユーザ ID、パスワード、およびパスワードの確認を入力します。このアカウントには、ネットワーク ドライブにファイルを保存するための適切なアクセス権が設定されている必要があります。



ヒント MY_DOMAIN\my_username という形式を使用することもできます。

d. Service Log On Settings を受け入れるために、OK をクリックします。

ステップ 4 MeetingPlace Backup Configuration ダイアログボックスで、OK をクリックします。

ステップ 5 サービスの設定をアップデートするように求められたら、Yes をクリックします。

ステップ 6 バックアップ ゲートウェイ サーバを再起動して変更を適用するために、OK をクリックします。



Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway によるバックアップの実行とデータの復元

この章では、Cisco MeetingPlace Audio Server システムのデータベースのバックアップ、バックアップ結果の表示、およびデータの復元を行うための手順について説明します。この章は、次の項で構成されています。

- [Cisco MeetingPlace Audio Server システムのデータベースのバックアップについて \(P.3-2\)](#)
- [Cisco MeetingPlace Audio Server システムのデータベースのバックアップ方法 \(P.3-3\)](#)
- [バックアップ ファイルからの Cisco MeetingPlace Audio Server システムのデータの復元 \(P.3-6\)](#)
- [ローカルドライブに格納されているバックアップ ファイルからの Cisco MeetingPlace Audio Server システムのデータの復元方法 \(P.3-7\)](#)
- [ネットワーク ファイル サーバに格納されているバックアップ ファイルからの復元方法 \(P.3-9\)](#)

Cisco MeetingPlace Audio Server システムのデータベースのバックアップについて

バックアップは、Cisco MeetingPlace MeetingTime によりスケジュールされて実行されます。バックアップをスケジュールする時期と頻度は、ユーザの数、システムで発生する設定変更の頻度、バックアップに関する企業のガイドライン、およびシステムの相対負荷によって異なります。

MeetingTime の詳細については、次の URL で、ご使用のリリースの『*System Manager's Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server*』または『*Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server*』を参照してください。

<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/conf/mtgplace/audio/index.htm>

一般的には、次の作業を行う必要があります。

- 定期的な日次バックアップのスケジュール
- 夜間バックアップのスケジュール



(注)

日中にデータベースに対して行われた変更を確実にバックアップに含めるには、夜間にシステムをバックアップする必要があります。ただし、システムが利用されている業務時間中にバックアップをスケジュールすることもできます。

Cisco MeetingPlace Audio Server システムのデータベースのバックアップ方法

この項では、次の手順について説明します。

- [Cisco MeetingPlace Audio Server システムのデータベースのバックアップ \(P.3-3\)](#)
- [バックアップ結果の表示 \(P.3-4\)](#)

Cisco MeetingPlace Audio Server システムのデータベースのバックアップ

ステップ 1 MeetingTime にログインします。

ステップ 2 Register Book をクリックし、System タブを選択します。

ステップ 3 Actions に対して、Database Backup を選択します。

ステップ 4 次のフィールドにシステムのバックアップ基準を入力して、Backup Settings を設定します。

フィールド	説明
Frequency	バックアップを実行する頻度と時期を選択します。オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">• Once : 単発のバックアップを即時に実行します。• Recurring : 指定した時間にバックアップを実行します。
If recurring, hr. of day	バックアップを開始する時刻を入力します。
If Recurring every x days	バックアップ間隔の日数を入力します。 x は 1 以上です。

ステップ 5 Execute をクリックします。

Cisco MeetingPlace Audio Server システムのデータベースのバックアップの例

次の例は MeetingTime の出力結果のサンプルであり、正常なバックアップを示しています。

```
Thu Jun 24 10:54:46 EDT 2004 Entering network backup script
Checking for backup gateway
Found.
Using partition 1e for working space
Creating backup file Thu Jun 24 10:54:47 EDT 2004
Backup file created Thu Jun 24 10:57:53 EDT 2004
Transfer
Updating the list of backup gateways

We will use Unit 16...

Setting up temporary directory and files...

Thu Jun 24 10:58:16 EDT 2004 Getting 'Ready' File...

'Ready' file has been received...

Putting 'Server' file onto unit...
..
Trying to retrieve 'ServerAck' file...
'ServerAck' file has been received...

Putting backup file (size 5991406) onto unit...
5000000 left to transfer
4000000 left to transfer
3000000 left to transfer
2000000 left to transfer
1000000 left to transfer

Putting backup.dat onto unit...

Trying to retrieve MPBU_Done file...
'Done' file has been received...

Thu Jun 24 11:00:54 EDT 2004 Backup is done
Cleaning out...
Thu Jun 24 11:00:54 EDT 2004 Network backup is complete
```

バックアップ結果の表示

- ステップ 1 Register Book で、**System** タブを選択します。
- ステップ 2 Actions に対して、**Database Backup** を選択します。
- ステップ 3 **Results of last backup** 属性に対して、**Values** エリアをクリックします。

バックアップの結果が表示されます。

バックアップ中に問題が発生した場合は、システムによってアラームが生成され、その問題の詳細が **Results of last backup** フィールドにロギングされます。



ヒント

バックアップ ファイルがコピーされたかどうかは、バックアップ フォルダを調べて確認することもできます。

バックアップ ファイルからの Cisco MeetingPlace Audio Server システムのデータの復元

重大な障害が発生した場合は、設置している冗長システムに応じて、複数のリカバリ オプションを使用できます。

これらのリカバリ オプションの詳細については、次の URL で、ご使用のリリースの『*System Manager's Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server*』または『*Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server*』に記載されている、情報のバックアップと障害のリカバリに関する項を参照してください。

<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/conf/mtgplace/audio/index.htm>

データのリカバリについてサポートが必要な場合は、TAC にお問い合わせください。

TAC へのお問い合わせについては、次の URL で『*Guide to Cisco MeetingPlace Conferencing Documentation and Support*』を参照してください。

<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/conf/mtgplace/roadmap.htm>

データベースの復元方法

復元プロセスで行われる処理は、次のとおりです。

1. バックアップ ファイルが Cisco MeetingPlace Audio Server システムにコピーされます。
2. ファイルの整合性が検証されます。
3. Cisco MeetingPlace Audio Server システムが停止します。
4. 復元が実行されます。



注意

データの復元では、Cisco MeetingPlace Audio Server の復元元のリリースと復元先のリリースは必ず一致していなければなりません。たとえば、Cisco MeetingPlace Audio Server 5.3 のデータは、Cisco MeetingPlace Audio Server 5.3 のインストールに復元する必要があり、Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.2 のインストールには復元できません。

最新のバックアップ ファイルの特定方法

Cisco MeetingPlace Audio Server システムのログ ファイルには最新のバックアップの時刻が記録されているので、このログ ファイルを参照して最新のバックアップを特定する必要があります。

最新のバックアップ ファイルは、次の場所に格納されている可能性があります。

- お客様の企業のバックアップ プロセスで指定されている場所
- ネットワーク ボリューム
- 1 つまたは複数のバックアップ ゲートウェイ サーバ

複数のバックアップゲートウェイサーバに Release 5.2 または 5.3 がインストールされ、各ローカルドライブにファイルがバックアップされている場合は、さらに各ドライブを個別に調べて最新のバックアップを特定します。ネットワーク ファイル サーバにファイルがバックアップされている場合は、すべてのバックアップが同一のフォルダに格納されています。

ローカルドライブに格納されているバックアップファイルからの Cisco MeetingPlace Audio Server システムのデータの復元方法



注意

既存のデータベース情報は、復元プロセスによって上書きされます。

ローカルドライブからファイルを復元するには、次の手順をこの順番で実行します。

- [復元の準備作業の実行 \(P.3-7\)](#)
- [バックアップファイルからの復元 \(P.3-7\)](#)

復元の準備作業の実行

バックアップファイルから復元する前に、次の作業を実行します。

- ステップ 1 Cisco MeetingPlace Audio Server システムの既存のデータベース情報に不整合が発生していることを確認します。
- ステップ 2 データベース障害の原因となった問題、およびその障害が原因となって発生した問題をすべて解決します。
- ステップ 3 最新のバックアップを特定します。

詳細については、[P.3-6 の「最新のバックアップファイルの特定方法」](#)を参照してください。
- ステップ 4 使用可能なバックアップが上書きされることがないように、過去のバックアップと冗長コピーをすべて保護します。

バックアップファイルからの復元



(注)

NFS に格納されているバックアップファイルから復元する場合は、[P.3-9 の「ネットワークファイルサーバに格納されているバックアップファイルからの復元方法」](#)の手順を実行します。

バックアップゲートウェイサーバのローカルドライブに格納されているバックアップファイルから復元する場合は、次の手順を実行します。

- ステップ 1 Cisco MeetingPlace Audio Server システムに Telnet 接続し、technician としてログインします。
- ステップ 2 tech\$ プロンプトで、`gwstatus` と入力します。

ステップ 3 単一のバックアップゲートウェイサーバしかない場合は、[ステップ 4](#)に進みます。

複数のバックアップゲートウェイサーバがある場合は、復元元のバックアップファイルが格納されているバックアップゲートウェイサーバの名前に対応する装置番号を確認します。

ステップ 4 `gwstatus` の出力結果を調べて、復元元のバックアップゲートウェイサーバのステータスが `Ok` になっていることを確認します。

ステップ 5 `tech$` プロンプトで、`restore` と入力します。

ステップ 6 単一のバックアップゲートウェイサーバしかない場合は、[ステップ 7](#)に進みます。

複数のバックアップゲートウェイサーバがある場合は、復元元のバックアップゲートウェイサーバを 1 つ選択します。

ステップ 7 確認を求められたら、`y` と入力します。

バックアップファイルのリストが表示されます。

ステップ 8 データの復元元のファイルを選択します。

ファイルを選択すると、Cisco MeetingPlace Audio Server システムによってファイルが転送され、転送処理の正常終了とファイルの整合性が検証されます。

または

別のバックアップゲートウェイサーバに格納されているファイルのリストを表示するために、次の手順を実行します。

- a. Enter キーを押して、現在の復元プロセスを中止します。
- b. [ステップ 5](#)に進みます。

ステップ 9 ファイルの転送が完了したら、`y` と入力して Cisco MeetingPlace Audio Server システムを停止し、復元を実行します。

ステップ 10 復元が完了したら、Cisco MeetingPlace Audio Server システムを再起動します。

ネットワークドライブからデータを復元している場合は、[P.3-10](#) の「[Cisco MeetingPlace GWSIM の設定のアップデート](#)」に進みます。

ネットワーク ファイル サーバに格納されているバックアップ ファイルからの復元方法

バックアップ ファイルが NFS にある場合は、次の手順をこの順番で実行します。

- 復元の準備作業の実行 (P.3-7)
- ネットワーク ファイル サーバにアクセスするための Cisco MeetingPlace GWSIM の設定 (P.3-9)
- バックアップ ファイルからの復元 (P.3-7)
- Cisco MeetingPlace GWSIM の設定のアップデート (P.3-10)

ネットワーク ファイル サーバにアクセスするための Cisco MeetingPlace GWSIM の設定

復元を実行する前に、復元用のファイルが格納されているネットワーク ボリュームにアクセスするように Cisco MeetingPlace GWSIM を設定する必要があります。

- ステップ 1 バックアップ ファイルが格納されているネットワーク ボリュームにアクセスできる Windows アカウントのドメイン、ユーザ ID、およびパスワードを取得します。



(注) このアカウントは、ログイン時に目的のネットワーク ボリュームをマッピングするように設定する必要があります。あるいは、このコンピュータにログインした後に目的のドライブをマッピングする必要があります。

- ステップ 2 Cisco MeetingPlace Web Conferencing がインストールされている場合は、そのサービスを停止した後に、次の手順を実行して Cisco MeetingPlace のその他のサービス (Cisco MeetingPlace GWSIM を含む) をすべて停止します。

- a. Start メニューから、**Settings > Control Panel > Administrative Tools > Services** を選択します。
- b. Cisco MeetingPlace システムのサービスを右クリックし、**Stop** を選択します。
- c. Services ウィンドウを閉じます。

- ステップ 3 MeetingPlace Gateway SIM サービスをダブルクリックします。

- ステップ 4 Log On タブをクリックします。

- ステップ 5 This account を選択し、ステップ 1 で取得したユーザ ID とパスワードを入力します。



(注) MY_DOMAIN\my_username という形式を使用することもできます。

- ステップ 6 OK をクリックします。

- ステップ 7 バックアップ ゲートウェイ サーバを再起動します。

Cisco MeetingPlace GWSIM の設定のアップデート

Cisco MeetingPlace GWSIM の設定に加えた変更は、復元が完了し後に削除する必要があります。

-
- ステップ 1** Cisco MeetingPlace Web Conferencing がインストールされている場合は、そのサービスを停止した後、次の手順を実行して Cisco MeetingPlace のその他のサービス (Cisco MeetingPlace GWSIM を含む) をすべて停止します。
- a. Start メニューから、**Settings > Control Panel > Administrative Tools > Services** を選択します。
 - b. Cisco MeetingPlace システムのサービスを右クリックし、**Stop** を選択します。
 - c. Services ウィンドウを閉じます。
- ステップ 2** **MeetingPlace Gateway SIM** サービスをダブルクリックします。
- ステップ 3** **Log On** タブをクリックします。
- ステップ 4** **Local System account** を選択します。
- ステップ 5** バックアップ ゲートウェイ サーバを再起動します。
-

バックアップ ファイルから Cisco MeetingPlace システムのデータを復元する例

次の例は、gwstatus コマンドの出力結果のサンプルを示しています。この例では、Unit 16 が Severname2 という名前のサーバに対応しています。また、MPBackup 記述子で示しているように、このサーバに Release 5.2 または 5.3 がインストールされています。

```

MPServer: tech$ gwstatus
Gateway SIM Status/Mon Dec 1 16:45:22 2003
-----
Remote Units
Unit 16 Severname 2          v5.2.0.13    Ok           12/01/03 16:45:20
Unit 17 Severname 2          v5.2.0.13    Ok           12/01/03 16:44:57
Unit 18 Severname 2          v5.2.0.14    Ok           12/01/03 16:45:15

Gateways:
Unit 16 IP Gateway           v5.2.0.12    Ok           12/01/03 07:56:50
Unit 16 MPBackup             v5.2.0.5     Ok           12/01/03 16:45:14
Unit 17 DataConf:GCC         v4.3.0.100   Ok           12/01/03 16:44:56
Unit 17 DataConf:GW          v4.3.0.100   Ok           12/01/03 16:44:20
...
Unit 18 MPBackup             v5.2.0.5     Ok           12/01/03 16:45:03

```

次の例では、最初に restore コマンドを入力し、次にネットワーク ドライブのファイルから復元するために 2 を選択し、最後に y と入力して復元プロセスを開始しています。

```
MPServer: tech$ restore
Restore databases from?
    1) Local file
    2) Remote file
    q) (Quit Restore)
Enter choice: 2
Remote source if from a remote file
restore.gateway: started
Thu Oct 23 18:20:23 PDT 2003
restore.gateway will bring down the MeetingPlace applications and
OVERWRITE the current contents of the databas.

First step: just copy the backup files to this server?
Proceed (y/[n])? y
restore.gateway: detailed output is saved in /usr/adm/restore.log for reference
```

次の出力結果のサンプルは、選択対象として 2 つのバックアップ ゲートウェイ サーバ (unit 19 と unit 21) が存在することを示しています。

```
Available units for backup:
1)    unit 19
2)    unit 21

Pick an available gateway
Enter choice [1-2]:
```

バックアップ ゲートウェイ サーバを選択すると、次の例のように、使用可能なバックアップ ファイルのリストが表示されます。

```
Checking available backup files on this unit...
Backup location is C:/Program Files/Latitude/MeetingPlace Backup/BACKUP
Available backup files:
1) file name: BU_0001af03b786_20031007121534.tgz
   Date of Backup: 10/07/2003 at 12:14:14
   File size: 6450211 bytes

2) file name: BU_0001af03b786_20031008121515.tgz
   Date of Backup: 10/08/2003 at 12:14:55
   File size: 6451990 bytes

3) file name: BU_0001af03b786_20031009121543.tgz
   Date of Backup: 10/09/2003 at 12:15:23
   File size: 6450275 bytes

Pick an available file
Enter choice [1-3 or <cr> to abort]:
```

次の例のように、システムを停止してバックアップ プロセスを完了する必要があります。

```
Down the system and complete the backup?
Proceed (y/[n])? y
```

■ ネットワーク ファイル サーバに格納されているバックアップ ファイルからの復元方法



Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway のトラブルシューティング

この章では、Release 5.2 または 5.3 のインストール後に発生する可能性のある問題について、そのトラブルシューティング情報を提供します。



(注) 次に示すトラブルシューティングの手順を実行するには、ご使用のネットワークが安定し、正常に稼動していることが前提となります。

	作業	説明
ステップ 1	Release 5.2 および 5.3 の各サービスが稼動していることを確認します。	バックアップ ゲートウェイ サーバで、 Start > Settings > Control Panel > Administrative Tools > Services を選択します。 次のサービスが起動していることを確認します。 <ul style="list-style-type: none">• Cisco MeetingPlace Gateway SIM• Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway
ステップ 2	バックアップ ゲートウェイ サーバが Cisco MeetingPlace Audio Server システムにログインしていることを確認します。	Cisco MeetingPlace Audio Server システムに Telnet 接続し、 gwstatus と入力して、バックアップ ゲートウェイ サーバのステータスが Ok になっていることを確認します。

	作業	説明
ステップ 3	バックアップ用に十分なディスク領域があることを確認します。	<p>Cisco MeetingPlace Audio Server システムのイベント ログを調べます。</p> <p>ローカルドライブにバックアップを作成しているときに、ディスク領域が不足して完全なバックアップを作成できない場合、Release 5.2 および 5.3 は、使用可能な別のバックアップ ゲートウェイ サーバにバックアップしようとして、使用可能な別のバックアップ ゲートウェイ サーバがない場合は、このバックアップの処理が失敗します。</p> <p>複数のバックアップ ゲートウェイ サーバに Release 5.2 または 5.3 がインストールされていて、それらのすべてのサーバが共通の NFS にバックアップしている場合は、NFS のディスク領域が不足すると、すべてのバックアップが失敗します。</p>
ステップ 4	Cisco MeetingPlace GWSIM のフォルダと Release 5.2 または 5.3 のフォルダが一致していることを確認します。	Cisco MeetingPlace GWSIM の設定と Release 5.2 または 5.3 の設定を調べます。
ステップ 5	Cisco MeetingPlace GWSIM の設定に複数のパス名が指定されている場合は、各パス名の後ろに 1 つのセミコロンがあることを確認します。	Cisco MeetingPlace GWSIM の設定を調べます。
ステップ 6	バックアップ ゲートウェイ サーバに関連するエラーの場合は、Cisco MeetingPlace Audio Server システムのイベント ログを調べます。	<p>Cisco MeetingPlace Audio Server システムのイベント ログについては、次の URL で、ご使用のリリースの『<i>System Manager’s Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server</i>』または『<i>Administrator’s Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server</i>』を参照してください。</p> <p>http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/conf/mtgplace/audio/index.htm</p>
ステップ 7	問題が解決しない場合は、TAC にお問い合わせください。	<p>TAC にお問い合わせいただく前に、次の情報を取得してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco MeetingPlace Network Backup Gateway のリリース • Cisco MeetingPlace Audio Server のリリース • エラー メッセージまたはアラーム コード <p>テクニカルサポートについては、次の URL で『<i>Guide to Cisco MeetingPlace Conferencing Documentation and Support</i>』を参照してください。</p> <p>http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/conf/mtgplace/roadmap.htm</p>



Symbols

.dat ファイル 2-6
.tgz ファイル 2-6

C

Cisco MeetingPlace Audio Server 4-1
 イベント ログ 4-2
Cisco MeetingPlace Gateway SIM 3-9
 設定 2-7
Cisco MeetingPlace MeetingTime 3-3

F

FTP バックアップ 1-3

G

gwstatus 3-7

T

tgz ファイル 2-6

い

一時バックアップ ファイル 2-4, 2-10
イベント ログ、Cisco MeetingPlace Audio Server 4-2
インストール 2-1

け

ゲートウェイ ステータス、「gwstatus」を参照 3-7
ゲートウェイ 装置、「装置、ゲートウェイ」を参照 3-8

こ

互換性、他のゲートウェイとの～ 2-3

さ

サービス 4-1

し

システム要件 2-2
実行、バックアップの～ 3-1
障害のリカバリ 3-6
冗長システム 3-6

せ

設定内容 2-7

て

ディスク領域の不足 1-3
データ ファイル 2-6
テープ バックアップ 1-3

と

特定、バックアップの～、「バックアップ、特定」を参照
トラブルシューティング 4-1

ね

ネットワーク
～へのバックアップ 2-4

は

バックアップ

FTP 1-3

～からの復元、「復元、バックアップからの～」を
参照 3-6

結果の表示 3-4

実行 3-1

スケジュールリング 3-1

即時 3-3

定期的 3-1

セキュリティ 1-3

テープ 1-3

～に関する問題 4-1

ネットワーク ファイル サーバへの～ 1-3, 2-4,
2-7

～の数 2-4

～の障害 1-3

ローカルドライブへの～ 1-3

バックアップファイル

.dat ファイル 2-6

.tgz ファイル 2-6

～について 2-6

～の数、「バックアップ、～の数」を参照

～のサイズ 2-4

～の場所 2-4, 2-6, 2-10, 3-6, 3-8

バックアップ障害 1-3

ふ

復元

ネットワーク ドライブからの～ 3-8 3-10

ローカルドライブからの～ 3-7 3-8

復元、バックアップからの～ 3-6 3-10

よ

要件

ハードウェアとソフトウェア 2-2